

教 科	商 業		科 目	経済活動と法	単位数	3
学 年	3 年		類 型	流通経済科		
教科書（出版社）		経済活動と法（東京法令出版）				
副教材（出版社）		経済活動と法ワークブック（東京法令出版）				
授 業 の 概 要		ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割を理解するとともに、経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を身に付ける。				
授 業 の 目 標		1 経法に関する基礎的・基本的な知識を習得する。 2 経法の意義や役割について理解し、将来の経営に携わる際の様々な問題に対応する能力を身に付ける。				
年 間 学 習 計 画		学習内容（単元・項目）		学 習 目 標		
	1 学 期	第1章 法の意義と役割		・法の意義と役割や分類・形式や解釈について学習する。		
		第2章 権利・義務と財産権		・権利、義務の基礎的な知識や権利の中心にある物権と債権について学び、知的財産権についても理解する。		
		第3章 契約と債権		・売買契約と貸借契約、財産権の保護と不法行為について学習する。		
	2 学 期	第4章 会社に関する法		・会社の種類と特徴、機関、資金調達、企業の再編について学習する。		
		第5章 企業の責任と法		・企業の法令遵守の重要性を学習する。 ・紛争の予防と解決について学習する。 ・消費者保護に関する法規、雇用に関する権利や概要、また、その課題について学習する。		
3 学 期	第6章 経済環境の変化と法		・経済環境の変化の現状と法規のかかわりについて学習する。			
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	経済活動に関する法律に関心を持ち、主体的に取り組んでいるか。		様々な経済事象を法的に考察し、その解決方法や解決案を見出すことができるか。	経済の諸問題におけるトラブルの解決にあたり、学習した知識を適切に活用しているか。	授業を通じて学んできた民法など基本的な法規の知識を身に付けているか。	
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。					